

佳作

将来の決意

岩手県一関市立藤沢中学校

2年 熊谷 帆乃佳

私の将来の夢は、看護師になることです。私が通院した際に、笑顔で優しく対応してくれた看護師の方々に心をうばわれたからです。そんな看護師さんと私の間にはこんなエピソードがあります。

私が小学校低学年の頃のことです。注射をととても怖がっていた私に、担当の看護師さんが注射を打つ前と間には「大丈夫だよ。」「頑張ろう。」、打ち終わった後には「強いね。」「頑張ったね。」「えらいね。」と優しくたくさん声をかけてくれました。おかげで注射に対する恐怖心が薄れました。そんなふうに相手の気持ちに寄り添って声をかける看護師に憧れました。

私が看護師になるために取り組んでいることは三つあります。

一つ目は看護師という仕事についてネットなどを利用して調べていることです。例えば勤務時間や仕事内容などを調べています。調べてみると、勤務時間は昼間担当と夜間担当に分かれているそうです。仕事内容は昼間は注射や点滴の準備や接種、患者さんの健康状態の確認などを行い、夜間は病室の見回りや救急患者さんの備えなどを行っていることが分かりました。調べてみて、昼間も夜間も患者さんのことを第一に考えて行動していることが分かりました。これからも疑問に思ったことはどんどん調べて、将来のイメージを持ちたいです。

二つ目は相手の気持ちを考えて生活することです。周りにいる家族や友達、先生とは気持ちを考えたうえで話すことが、看護師が患者さんの気持ちに寄り添って話すことにつながると思います。また、笑顔で相手とたくさん話すことでコミュニケーションが取りやすくなると思います。もし、自分が患者さんの立場に立った時、検査や治療中に看護師が何も話さなかったり、真顔だったりしたら、誰でも心配したり、不安を抱いたりすると思います。患者さんに安心感を持ってもらえる看護師になるために、今のうちから日常生活で相手の気持ちを考えて話したり、笑顔を向けたりしています。また、挨拶や礼儀などの基本的なことも意識して生活したいです。

三つ目は学力を向上させることです。看護師には目盛りの読み取りや計算、治療のための物質や液体の把握など、理数系の力が必要だと思います。私は理数系があまり得意ではないので、日々の授業に集中することはもちろん、家庭学習にも力を入れて取り組み、学力向上を目指しています。そして、看護師になるための「国家試験」に合格できるよう、毎日全力で学習に取り組みたいで

す。中学2年の私では、まだ「国家試験」のイメージが持てませんが、将来を見据えて勉強に励みたいです。

このような取り組みを両立して行い、将来に役立てば良いと思います。

私が住む一関市藤沢町は「福祉の町」と呼ばれています。そんな福祉の町に生まれたからこそ、福祉に携わる看護師の職業に就きたいのです。そして、「藤沢は福祉の町だ。」ということを誰もが感じられるような、この言葉が途切れなような藤沢町であり続けてほしいと思います。

私が看護師になったら、年齢や性別を問わず、誰に対しても挨拶や笑顔を忘れず、相手の気持ちに寄り添って話しかける人になりたいです。そして、患者さんが安心し、笑顔になってくれれば、「最高の命の手助けをした」と実感できると思います。この思いはたくさんの人と関わり、命を救う看護師だからこそ、感じる事ができるのだと思います。また、現在、新型コロナウイルスの影響により、苦しい思いや生活をしている人がいると思います。もし、これから先も同じような感染症に苦しんでいる人がいたら、看護師という立場で救ってあげたいです。そのためには、今、自分に何ができるかを考えて行動したいです。

人の命には限りがあります。看護師というのはその限りある命をつなぐための仕事でもあると思います。現在はA Iの活躍が増え、人と人とが直接関わる機会が減ってきているように感じます。しかし、看護師という仕事を人が務めるからこそ、患者さんは看護師さんの手の温もりや表情を感じ取ることができます。また、人同士で直接会話することで、何げない話でも、笑顔になり、場が明るくなります。将来、私もそんなふうに患者さんの心の支えになる存在になりたいです。私はこの仕事は素晴らしい仕事だと思うので、これからずっと先でも、あり続けてほしいと思います。だから、私は、人の命を救い、つなぐ看護師に進みたいです。